

産地生産基盤パワーアップ事業の評価結果

○ 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考				
					現状				目標				実績												
					年度	面積	生産量、出荷量、又は処理量	単価	年度	面積	生産量、出荷量、又は処理量	単価	年度	面積	生産量、出荷量、又は処理量	単価									
佐賀市農業再生協議会	2	佐賀市東部・進地区	米・麦	米麦穀類乾燥調製貯蔵施設の再編統合を行い、施設運営費を削減する。	平成29年度	(米) 80,219千円	(米) 358 t	1,856.0 (麦) 1,042.9	平成30年度	(米) 59,652千円	(米) 349 t	1,955.7 (麦) 1,912.7	R3	平成31年度	(米) 68,628千円	(米) 349.8 t	1,741 (麦) 2,274	共設施設の総代金資料により検証 成果目標 現状：80,219千円平成29年度共設実績 目標：59,652千円東部CE5中3及び試算を基に作成	56.4%				麦について、計画通りの取量を確保し、取扱数量も目標以上であった。そのため、人件費や消耗資材等に費用がかかり、目標を達成することが出来ていない。なお、一定の費用削減の効果は表れている。今後、より一層の費用管理を努め、目標に達成してもらいたい。	一定の事業効果は認められたものの、人件費や消耗資材等の費用が増加したため目標には達しなかった。施設運営コスト削減の取組に努めるよう指導を行う。	
川副町農業再生協議会	1	川副地区	米・麦	既存の米麦CE(3施設)と既存大説間RCの再編統合を行い、施設運営費を削減する。	平成29年度	181,767千円	(米) 873.3 ha	4,749.8 (麦) 4,376.0	平成30年度	107,434千円	(米) 880 ha	4,906.0 (麦) 4,757.4	R3	平成31年度	116,033千円	(米) 803.3 ha	4,326.2 (麦) 6,662.4	施設総代金の収支決算報告資料で算出 現状：181,767千円(施設実績合計を5中3で算出) 目標：107,434千円 ※平成29年度実績を基に、再編後の施設能力、稼働計画により試算	88.4%				米については、減反付等により確保できなかった。また、燃料費がかかった。また、燃料費が想定以上に高騰し、目標を達成することが出来なかった。一定の費用削減の効果は表れていることから、より一層の経営削減に努め、目標に達成してもらいたい。	一定の費用削減効果は認められたものの、取組量増加や燃料費高騰により目標を達成することができなかった。施設運営コスト削減の取組に努めるよう指導を行う。	
伊万里市農業再生協議会	2	伊万里地区	梨	集出荷貯蔵施設の整備	平成30年度	72.22円/kg	134.34 ha	2,564,277.9 kg	令和3年度	64.97円/kg	125.34 ha	2,384,749.8 kg	R3	平成31年度	130.669 ha	2,460,809 kg	68.97円/kg	<検証方法> 収支決算報告書により検証 (現状) 出荷資材 70,762,786円 人件費 46,668,603円 運賃 39,392,008円 維持管理費 19,495,230円 光熱費 8,876,247円 合計 185,194,874円 取扱数量当たり 72.22円/kg 再編後の施設能力、稼働計画により試算 (目標) 出荷資材 67,249,947円 人件費 27,616,566円 運賃 41,154,723円 維持管理費 9,326,386円 光熱費 9,591,801円 合計 154,939,430円 取扱数量当たり 64.97円/kg	44.8%				導入前と比較すると生産コストは5%減になっているが、稼働初年度のため稼働率が低く人件費が高くなり、目標までの削減には至っていない。	事業の効果はあったものの、稼働初年度であったため稼働率が低く、計画より人件費が多くなり目標を達成することができなかった。人員配置の見直し等を行い、さらなるコスト削減に繋がるよう指導を行う。	

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												地域(県又は市)の価格(販売単価)				事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考									
					現状				目標				実績				事業実施前年度		目標年度															
					年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)						年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)					
大和町農業再生協議会	1	大和	麦	・乗用管理機の導入による防除作業の徹底 ・レーザーレベラーとプラウ及びトラクターのリース導入による圃場整備	平成28年度	単位面積当たりの販売額 4219.6円/10a	47.3 ha	136,090 kg	14.7 円/kg	—	令和3年度	単位面積当たりの販売額 5273.1円/10a	60.0 ha	243,372 kg	13 円/kg	—	R3	平成31年度	単位面積当たりの販売額 3917.2円/10a	69.9 ha	339,680 kg	8.1 円/kg	—	1.815	【現状】販売金額 1,998,270円 作付面積 4735.7a 【目標】販売金額 3,163,832円 作付面積 6000.0a 【検証方法】共済面積、出荷伝票による販売実績を検証	276.8%				販売単価が下がっていることを考慮し、価格補正後に評価を行った。目標は達成できたと見える。	防除作業の徹底により10a当たりの取引量は増加した。販売単価の低下を考慮すると目標は達成できている。			
武雄市農業再生協議会	1	武雄・嬉野地区	きゅうり	低コスト耐候性ハウスの整備	平成28年度	383,896,224円	6.086 ha	1,332,973 kg	288 円/kg	—	平成30年度	541,177,344円	7.927 ha	1,879,088 kg	288 円/kg	—	R3	平成31年度	606,243,575円	9.694 ha	2,399,576 kg	253 円/kg	—	284 円	249 円	1,141	事業年度(4月～3月)におけるJ Aの出荷実績および販売実績をもとに検証 【現状値】 武雄・嬉野地区のみどり地区施設胡瓜部会員の平成29年度実績 面積 6.086ha 出荷量 1,332,973kg 単価 288円/kg 【目標値】 以下の数値を基に設定 面積 7.927ha 出荷量 1,879,088kg 単価 288円/kg	196.3%				栽培管理等順調であったため、目標額を達成できた。	新規就農者の確保に向けた取組強化、規模拡大農家の技術的な支援が行われたことにより目標が達成された。	

佐賀市 農業再生協議 会	1	佐城三 神地区	施設野 菜(イチ ゴ)	地区内10ヶ所 の集出荷施設 選果場として 再編整備する ことにより 「販売額の 10%以上の増 加」を図る	販売額の 10%以上 の増加	平成 2 9 年度	4,885千 円/10a	35.59	ha	1,369,856	kg	1,269	円/ kg	—	平成 3 3 年度	6,648千 円/ 10a	35.18	ha	1,740,964	kg	1,343	円/ kg	—	R3	5,842千円/10a	31.45	ha	1,369,008	kg	1,342	円/ kg	—	1,201.98	円/ kg	1,360.35	円/ kg	0.884	5,164 千円 /10a	(検証方法) 生産実績により検証。 (現状値) ①H29販売高：1,738,373,586円 ②H29作付面積：3,558.8a ③H29生産量：1,369,856kg ④販売単価：1,269円/kg(①÷③) ⑤粗収入：4,885千円/10a(①÷②) (目標値) 「さほのか」から新品種「いちごさん」へ品種転換を実施し、単価、反収の増加により販売額の向上を図る。JAさが実績より目標作付面積：3,518a(共選100%1,803.2a、共選50%面積411.9a、他選1,302.9a、JA他選調査) ①目標生産量：1,740,964kg(共選5,200kg/10a×(1,803.2a+411.9a)+他選4,522kg×1,302.9a) ②目標販売単価：1,278円/kg(1,252.61円×102%)、共選100%1,387円/kg(H29JAグループ佐賀内共選販売単価より)、共選50%1,333円/kg ③目標平均販売単価：1,343円/kg(⑤÷③) ④目標粗収益：6,648千円/10a(⑤÷②)	15.8%	販売額については、向上しているが、暖秋および暖冬による前半の出荷量が確保できず計画比減となった。また、春先の出荷量急増により品質低下やイタミが発生した。気象条件に影響されているものか大きいと考えられる。今後は、気象条件に左右されない栽培技術の確立、より一層の品質向上や販売体制の強化等に努められたい。	晩秋から暖冬にかけて気象条件に恵まれず、高単価時期である年内収量が少なくなり計画比減となった。今後も年内収量確保に向けた栽培技術の確立に向けて、関係機関と一体となって目標達成に向けた指導を行う。
みやき 町農業 再生協 議会	3	三神工 リア	施設野 菜(ア スパラ ガス)	アスパラガス 広域集出荷施 設の整備	販売額の 10%以上 の増加	平成 3 0 年度	2,247千 円/ 10a	31.14	ha	600,272	kg	1,166	円/ kg	—	平成 3 3 年度	2,509千 円/ 10a	32.06	ha	690,000	kg	1,166	円/ kg	—	R3	2,391千円/10a	29.7	ha	656,402	kg	1,085	円/ kg	—	1,176	円/ kg	1,098	円/ kg	1.071	2,568 千円 /10a	<検証方法> 精算実績により検証。 【現状値】 面積：31.14ha 販売高：699,975,091円 10a当り販売高 2,247,833円 ※平成30年産を現状値とする。 【目標値】 面積：32.06ha 販売高：804,540,000円 10a当り販売高 2,509,482円 ※10a当り出荷数量及び単価を過去5か年上位3か年平均を目標値とする。	122.5%	春先に順調な収量をあげられたこと等から順調に収穫でき、目標を達成することができた。今後よりよい栽培方法を探求し、品質の高いアスパラガスを生産できるように農家、農協とともに取り組んでいきたい。	大雨災害による浸水・冠水被害のため収量が押し縮んだものの、販売単価の値下を考慮すると目標は達成できている。

都道府県 平均達成 率	72.2%	総合 所見	令和3年度評価の対象地区である、7地区のうち、目標達成している地区は3地区、未達が4地区となっている。また、県全体での平均達成率は72.2%となった。 品目別では、米・麦については達成が1地区、未達が2地区、野菜については達成が2地区、未達が1地区、また果樹については未達が1地区となっている。 未達となった地区のうち、 ・米・麦では、一定の事業効果は認められたものの、麦の取り扱い数量が増加したことで、人件費や消耗資材等の費用が増加したため、施設運営コスト削減の目標を達成できなかった。 ・野菜(いちご)では、晩秋から暖冬にかけて気象条件に恵まれず、高単価時期である年内収量が少なくなり計画比減となり、単位面積当たりの販売額に影響し、目標を達成できなかった。 ・果樹(梨)では、統合前よりはコスト減となっていたものの、稼働初年度であったため稼働効率が悪く、計画より人件費が多くなり、施設運営コスト削減の目標を達成できなかった。 いずれの取組についても、今後目標達成となるよう関係機関と連携し、人員配置の見直し等による施設運営コストの作減、天候に左右されにくい栽培技術の普及のための支援を行っていく。
-------------------	-------	----------	--

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後 (目標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
佐賀県	佐賀市	佐賀市農業再生協議会	1	施設野菜 (イチゴ)	販売額の10%以上の増加	4,885千円/10a (H29)	6,648千円/10a	5,164千円/10a	15.8%	達成状況が15.8%と低調であること、改善策については施設運営コストの観点からも検討すべきであるため、佐賀市農業再生協議会を指導する必要がある。
佐賀県	佐賀市	佐賀市農業再生協議会	2	米・麦	集出荷コストの10%以上の削減	80,219千円 (H29)	59,652千円	68,628千円	56.4%	達成状況が56.4%と低調であること、改善策については施設運営コストの観点からも検討すべきであるため、佐賀市農業再生協議会を指導する必要がある。
佐賀県	伊万里市	伊万里市農業再生協議会	2	梨	集出荷コストの10%以上の削減	取扱数量当たりの施設運営コスト 72.22円/kg (H30)	取扱数量当たりの施設運営コスト 64.97円/kg	取扱数量当たりの施設運営コスト 68.97円/kg	44.8%	達成状況が44.8%と低調であること、改善策については施設運営コストの観点からも検討すべきであるため、伊万里市農業再生協議会を指導する必要がある。